

## 名誉会員追悼



故 名誉会員 佐野 幸吉 君

### 弔 辞

社団法人日本鉄鋼協会名誉会員、元会長、名古屋大学名誉教授、元名古屋工業大学学長 故佐野幸吉殿のご葬儀に臨み、謹んでご霊前に哀悼の辞を申し上げます。

先生は、昭和41年から43年まで2年間、日本鉄鋼協会会長を歴任されました。我が国鉄鋼界の発展に伴い、国際交流の重要性を唱えられ、本会が41年に派遣した「訪独・ベネルックス鉄鋼使節団」では団長を務められ、学術、技術の交流促進に成果を挙げられたのを始め、第1回鉄鋼科学技術国際会議の昭和45年開催ならびに日ソ製鋼物理化学シンポジウム開設等々の決定を行い、国際交流事業の礎を築かれました。また、我が国古来のたたら製鉄法の復元実験と科学的解明ならびにその技法を伝える記録映画作成を目的として「たたら製鉄法復元計画実行委員会」を設置し、昭和44年復元実験は成功裡に終了いたしました。さらに通商産業省から委託のあった、鉄鋼生産設備調査に必要な能力算定方式の見直しに当たっては、「鉄鋼生産設備能力調査委員会」を発足させ、自ら委員長として著しい技術の進歩ならびに新規設備の実状に対応した答申を提出されました。これら事業の遂行には常に大局的見地から卓越した洞察力に基づいた指導力を発揮されました。

会長をご退任後も、元会長として事業運営に貴重なご提言を頂戴しておりましたが、特に教育問題に心血を注がれ、技術革新の時代に対応しうる創造力のある科学者、技術者を養成するため、科学技術教育の改善が必要であると機会あるごとに唱導されておられました。本会では育成部門において、先生のご提唱を軸とした教育養成事業の展開推進をしております。

先生は、昭和7年東北帝国大学をご卒業、昭和15年創設された名古屋帝国大学に招聘され化学冶金講座をご担当、爾後教授、工学部長、教養部長を務められ、退官後は名古屋工業大学学長として大学の運営に当たられました。

先生は、鉄鋼製錬の基礎反応に関する化学冶金学的研究にご専念され、数多くの学術上、技術上貴重な研究成果をご発表になられております。そのご業績は高い評価を受け、斯界への貢献は顕著であります。

先生は日本学術会議会員として学術の振興発展に努められたほか、そのご活躍は広範多岐に亘っておりますが、これら一連のご業績、ご貢献に対して、日本鉄鋼協会から昭和37年俵論文賞、44年西山賞、50年製鉄功労賞、平成2年俵賞を受賞されたほか、勲二等旭日重光章、日本金属学会賞、本多記念賞などが授与されております。また日本鉄鋼協会、日本金属学会、ドイツ鉄鋼協会の名誉会員に推挙されておられます。

これからも、益々ご指導を賜れるものと思っておりましたが、永遠のお別れを急に迎えることは、誠に痛惜の極みであります。

元会長の本会発展に尽くされました偉大なご業績を偲び、会員一同心から哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

平成6年8月12日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会 長 佐野 信雄